



北見赤十字病院

病院データ



住所	〒090-8666 北見市北6条東2丁目1番地
URL	http://www.kitami.jrc.or.jp/
連絡先(窓口)	教育研修推進室 0157-24-3115 (代表) krc_kyouiku@kitami.jrc.or.jp
病床数	532床
専門研修指導医数	11人
臨床研修指導医数	31人
外来患者数	1,169人/日※令和4年度(2022年度)実績
入院患者数	410人/日※令和4年度(2022年度)実績
標榜科	内科 消化器内科 腫瘍内科 神経精神科 循環器内科 小児科 小児外科 外科 消化器外科 呼吸器外科 整形外科 リハビリテーション科 形成外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 頭頸部・耳鼻咽喉科 放射線科 麻酔科 ペインクリニック内科 腫瘍精神科 緩和ケア内科 病理診断科 歯科口腔外科
給与(月額)	70.5万円
処遇	身分・待遇 日本赤十字社職員・日本赤十字社給与要綱による、その他当院規定による 健康保険/厚生年金/雇用保険/労災保険/育児休暇/介護休暇など
サブスペシャリティ	無

「オホーツク」総合診療専門研修プログラム

北海道/道東の大きな自然環境の中で、地域医療最前線の医療機関(施設群)での研修を通じて、道東の地域医療及び全国のいかなる地域においても活躍できる総合診療専門医を養成することを目的とします。

(連携施設)

【病院】 置戸赤十字病院/小清水赤十字病院 【診療所】 陸別町国民健康保険関寛斎診療所

院長から

北見赤十字病院は、オホーツク三次医療圏の中核医療機関「地方センター病院」です。救命救急センター、がん診療連携拠点病院等の高度専門医療を担い、かつ地域医療支援病院として地域完結型の医療を目指しています。総合診療専門研修は、オホーツク地域のさまざまな疾患を初診から入退院まで、また高齢化が顕著な地方において真の地域医療を経験することにより、全人的医療が身につきます。地域医療を志す同士を歓迎します。



院長 荒川 穰二

プログラム責任者から

当院はオホーツク医療圏内で生活している約30万人の砦です。おおよその診療は当院で完結しますが、より高次の医療機関へ依頼する場合もほぼ当院を経由します。そのため当院では経験することが望ましい医療を偏りなく経験することができます。

総合診療専門研修は内科を含む複数の診療科を修める必要がありますが、いずれの科もプライマリ・ケアから高度な医療まで安心して研修できる環境が整っています。



第二内科・総合診療科部長
大谷 恵隆



ローテーション例

年目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		1	施設名	内科・総合診療科・（6ヶ月）、消化器内科（3ヶ月）、循環器内科（3ヶ月）									
	領域	内科											
2	施設名	北見赤十字病院			北見赤十字病院			北見赤十字病院 内科・総合診療課					
	領域	小児科			救急			総診Ⅱ					
3	施設名	置戸赤十字病院、小清水赤十字病院、陸別町国民健康保険関寛斎診療所											
	領域	総診Ⅰ											

当院の特徴

基幹施設である北見赤十字病院は、内科・総合診療科を含め26の診療科、救命救急センター、総合周産期母子医療センターを擁し、がん診療拠点病院、災害拠点病院でもあり、地域医療の「最後の砦」です。リハビリも充実しており、緩和ケア内科において末期がん患者のケアも経験できます。災害医療の研修、訓練参加も可能です。

連携施設である置戸赤十字病院、小清水赤十字病院、陸別町国民健康保険関寛斎診療所には各地域のあらゆる重症度の患者が集中し、初期診断、初期対応、転院搬送の判断から、治療法決定さらには治療後の転帰に至るまでの診療を経験することができます。地域の基幹病院から地元へ戻った、多様な疾患を有する患者の継続診療も数多く経験できます。そして、町民健診、学校健診、予防接種、町民への啓発活動、在宅医療、介護施設などへの訪問診療などを通して地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組むことができます。

自然豊かではありますが、他方10万人あたり医師数や専門医師数が少なく、また地理的に広範囲であるがゆえに地域完結型医療の提供が求められる北海道オホーツク圏で、地域基幹病院および地域の連携病院における研修を通じて、北海道オホーツク圏の地域医療を担い上げる総合診療専門医を養成し、ひいては全国のいかなる地域においても活躍できる総合診療専門医を育成することを目的とします。

プログラムの特徴

本研修プログラムでは、①総合診療専門研修Ⅰ（外来診療・病棟診療・在宅医療中心）、②総合診療専門研修Ⅱ（外来診療・病棟診療、救急診療中心）、③内科、④小児科、⑤救急科の5つの必須診療科と選択診療科で3年間の研修を行います。

このことにより、1. 人間中心の医療・ケア、2. 包括的統合アプローチ、3. 連携重視のマネジメント、4. 地域志向アプローチ、5. 公益に資する職業規範、6. 診療の場の多様性 という総合診療専門医に欠かせない6つのコアコンピテンシーを効果的に修得することが可能になります。

